

分野名	母性	科目名	母性看護学概論	
単位数	2	授業時間数	30	
開講年次	1	開講期間	通年	
担当教員	専任講師			
担当教員名				
目的	母性看護の基盤となる概念・対象と母子保健の動向について理解し、ライフサイクル各期の看護に必要な基礎的知識・倫理的考え・態度を身につける。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母性看護の概念と対象について述べる。 2. 人間の性と生殖について述べる。 3. 母子保健に関する動向と法律・施策について述べる。 4. ライフサイクル各期の特徴・健康問題と看護を述べる。 5. 母性看護における倫理について考えを述べる。 			
成績評価の方法と基準	※成績評価については、各方法が評価全体に占める割合(%)を示す 単位認定試験90%、レポート・課題提出10%			
使用テキスト・教材	※使用教材 ナーシンググラフィカ 概論・リプロダクティブヘルスと看護 母性看護学① メディカ出版			
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に該当するテキストを読み、予習・復習をする。 ・授業内容の振り返りを行い、重要項目のポイントを学習する。 ・グループワークには積極的に参加する。 			
No	学習内容	学習方法	担当教員	担当教員名
1.	母性看護の基盤となる概念 母性看護の概念	講義	専任講師	
2.	母性看護の基盤となる概念 母性看護実践を支える概念	講義	専任講師	
3.	リプロダクティブヘルス/ライツ	講義 動画視聴	専任講師	
4.	性と生殖 セクシュアリティ	講義 動画視聴	専任講師	
5.	母性看護にかかわる統計・法律・施策 母子保健統計の動向	講義	専任講師	
6.	母性看護にかかわる統計・法律・施策 母性看護にかかわる法律・施策	講義	専任講師	
7.	性と生殖 生殖に関する生理	講義	専任講師	
8.	女性のライフサイクル各期の看護(思春期)	講義	専任講師	
9.	女性のライフサイクル各期の看護(成熟期)	講義	専任講師	
10.	女性のライフサイクル各期の看護(更年期・老年期)	講義	専任講師	
11.	女性のライフサイクル各期の看護	講義 グループワー	専任講師	
12.	女性のライフサイクル各期の看護	講義 グループワー	専任講師	
13.	母性看護における倫理 生命倫理と看護倫理	講義 グループワー	専任講師	
14.	母性看護における倫理 生命倫理と看護倫理	講義 グループワー	専任講師	
15.	単位修得試験			
16.				

分野名	母性	科目名	母性看護学方法論Ⅰ
単位数	1	授業時間数	30時間
開講年次	2	開講期間	通年

担当教員	専任講師 兼任講師
担当教員名	
目的	妊娠・分娩の経過を理解し、看護に必要な基礎的知識・技術・態度を身につける。
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. マタニティサイクル期の看護の特徴を述べる。 2. 妊娠の成立と正常な妊娠経過を述べる。 3. 妊婦・胎児の健康診査について述べる。 4. 正常な妊娠経過を促すための看護を述べる。 5. 分娩の正常な経過を述べる。 6. 正常な分娩経過を促すための看護を述べる。 7. 妊娠期・分娩期の異常と病態生理、治療、看護を述べる。
成績評価の方法と基準	※成績評価については、各方法が評価全体に占める割合（％）を示す 単位認定試験100%
使用テキスト・教材	ナースンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版 ナースンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に該当するテキストを読み、予習・復習をする。 ・授業内容の振り返りを行い、重要項目のポイントを学習する。 ・グループワークには積極的に参加すること。 ・演習の前には、提示された課題を行い予習した上で臨むこと。

No	学習内容	学習方法	担当教員	担当教員名
1.	マタニティサイクル期の看護	講義	専任講師	
2.	妊婦の生理	講義	専任講師	
3.	妊婦と胎児のアセスメント	講義	専任講師	
4.	妊婦と家族の看護	講義	専任講師	
5.	妊娠期の看護技術	演習	専任講師	
6.	分娩の生理 分娩の定義・3要素、分娩の経過	講義	専任講師	
7.	産婦・胎児のアセスメント	講義	専任講師	
8.	産婦と家族の援助	講義	専任講師	
9.	妊娠期・分娩期の異常と看護 妊娠期の異常と看護	講義	兼任講師	
10.	妊娠期・分娩期の異常と看護 分娩期の異常と看護	講義	兼任講師	
11.	妊娠期・分娩期の異常と看護 グループケア	講義	兼任講師	
12.	看護過程 妊娠期・分娩期の看護過程	講義	専任講師	
13.	看護過程 妊娠期・分娩期の看護過程	講義、グループワーク	専任講師	
14.	看護過程 妊娠期・分娩期の看護過程	講義、グループワーク	専任講師	
15.	単位修得試験			
16.				

分野名	母性	科目名	母性看護学方法論Ⅱ	
単位数	1	授業時間数	30	
開講年次	2	開講期間	通年	
担当教員	兼任講師 専任講師			
担当教員名				
目的	産褥・新生児期の経過を理解し、看護に必要な基礎的知識・技術・態度を身につける。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 正常な産褥の経過を述べる。 2. 正常な産褥経過を促すための看護を述べる。 3. 家族関係形成への援助を述べる。 4. 産褥期の異常と病態生理、治療、看護を述べる。 5. 新生児の生理を述べる。 6. 新生児の子宮外生活適応へ向けた看護を述べる。 7. 新生児の異常と病態生理、治療、看護を述べる。 8. 褥婦の看護過程を展開する。 			
成績評価の方法と基準	※成績評価については、各方法が評価全体に占める割合(%)を示す。 単位認定試験100%			
使用テキスト・教材	ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版 ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版			
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に該当するテキストを読み、予習・復習をする。 ・授業内容の振り返りを行い、重要項目のポイントを学習する。 ・グループワークには積極的に参加する。 ・演習の前には、提示された課題を行い予習した上で臨む。 			
No	学習内容	学習方法	担当教員	担当教員名
1.	産褥期・新生児期の看護	講義	専任講師	
2.	新生児の生理	講義	兼任講師	
3.	新生児のアセスメントと看護 新生児の異常と看護	講義	兼任講師	
4.	新生児の看護技術	演習	兼任講師 専任講師	
5.	新生児の看護技術	演習	兼任講師 専任講師	
6.	産褥経過	講義	専任講師	
7.	褥婦のアセスメント	講義	専任講師	
8.	褥婦と家族への看護	講義	専任講師	
9.	褥婦の看護技術 子宮底測定、乳房の観察	演習	専任講師	
10.	褥婦の看護技術 子宮底測定、乳房の観察	演習	専任講師	
11.	産褥期の異常と看護	講義	専任講師	
12.	褥婦の看護過程 事例による看護過程の展開	講義 グループワー	専任講師	
13.	褥婦の看護過程 事例による看護過程の展開	講義 グループワー	専任講師	
14.	褥婦の看護過程 事例による看護過程の展開	講義 グループワー	専任講師	
15.	単位修得試験			
16.				